

第 16 回 始良・伊佐おやじサミット



平成 31 年 2 月 10 日（日），始良市蒲生公民館において，地区内のおやじの会の組織強化とおやじとして子どもの健全な成長を支えることを目的とした「第 16 回 始良・伊佐おやじサミット」が開催されました。

当日は，始良・伊佐地区のおやじの会の会員のほか，地区内の中高生など総勢約 105 人が参加しました。

【パネルディスカッション】

テーマ：「スマートフォンとの付き合い方」

パネリスト：地区中高生 8 人，保護者代表 4 人

コーディネーター：始良市教育委員会

和田敏郎社会教育指導員

指導とまとめ：始良・伊佐教育事務所指導主事



パネルディスカッションは，有志の方々による軽妙なトークの寸劇に続いて行われました。始良市教育委員会の和田敏郎社会教育指導員がコーディネーターを務め，始良・伊佐地区内の中学生 5 人，高校生 3 人，保護者代表 4 人を交えて「スマートフォンとの付き合い方」と題して行われました。

スマートフォンのよいところや便利な点については，大人も子どもも，大半の部分で見解が一致していました。一方，困ったことや迷惑をかけられたりした点については，仲間はずれや，生活リズムを崩す原因になっている事実などが取り上げられ，身近な問題になっていることが確認できました。最終的には，スマートフォンの「明」と「暗」の部分をしっかり理解し，正しく使いこなせるように大人も子どもも語り合いながら学んでいくことが大切であるとまとめられました。

参加者から「勇壮な蒲生太鼓坊主の演舞や寸劇に魅了させられたことはもちろんのことだが，今回，子どもと大人がスマートフォンについて語り合えたことは，とても意義深いものだった。早速，家に帰って，子どもたちと話し合ってみたい。」という感想が寄せられました。

【第 8 回 東北復興支援バザー】

～福島県南相馬市立原町第一小学校への

応援とともに～



同日午後 1 時から A コープあいら店で 8 回目となる東北復興支援バザーを開催しました。約 2 時間の活動でしたが，雨天にもかかわらず，多くの方々に来場していただきました。バザー売上金と義援金を合わせて約 10 万円が集まり，原町第一小学校（震災当時鹿児島県から先生が赴任）へ送らせていただきました。

なお，本バザーは，東日本大震災の年に生まれた子どもたちが 20 歳になるまで続けますので，今後とも御協力をお願いいたします。